

おしゃべり通信

(Vol.9)

発行日：令和4年3月20日

発行者：牧之原市主任ケアマネ連絡会

牧之原市主任ケアマネ連絡会は14名で活動を行っています。月1回の連絡会では、研修会の計画等について話し合っています。令和3年度に開催したステップアップ研修と事例検討会について報告をさせていただきます。

皆様の中でこの一年の振り返りとなり、ケアマネジメントの業務へ反映できるものがあればと思います。また研修内容につきましては、少しでも皆様の活動にお役にたてるものと考えております。

主任ケアマネ連絡会としてはケアマネの皆さんへ有効な情報を発信していきたいと思います。ご意見はお近くの主任ケアマネまでお願いします。



お知らせ

※来年度も主任ケアマネ連絡会では、各種研修の開催を予定しております。

6月 新任ケアマネ研修
9月 主任ケアマネ研修
11月 事例検討会
2月 講演会

※ケアマネ相談会は随時受付けていますので、担当包括支援センターまでご連絡ください。

ステップアップ研修

「ケアマネ業務2～3年目の方を対象に資質向上を目指した研修を行いました」

●開催 令和3年6月24日（木）

●目的 「ケアプラン作成スキルの向上」

「制度のこと等の情報交換や仲間作り」

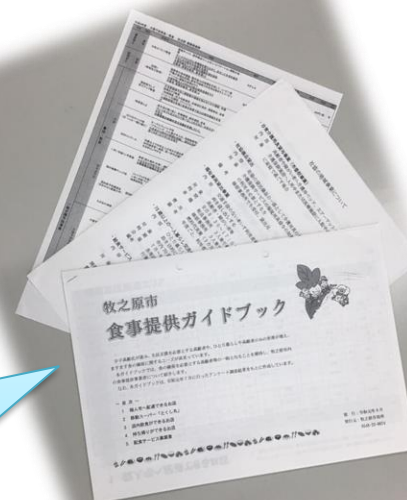
●参加者 ケアマネ4名 主任ケアマネ5名 長寿介護課4名 合計13名

●内容 第Ⅰ部「ケアプラン作成について」

第Ⅱ部「社会資源他情報交換（地域のサービスを知る）」

事前にアンケートで参加者の意見収集を行った。当日はアンケートの回答を踏まえ、課題整理総括表とケアプラン作成において困っていることや地域資源活用等について意見交換を行った。制度改正に対応したケアプランの記載など旬な話題についても情報共有した。

研修で使用了社会資源の資料は各包括支援センターで紙面提供できます。必要な方はお声かけください。



●感想

- ・ケアプランの記入方法の改定について、皆からの意見を聞き参考になった。
- ・「課題分析の結果」の書き方が分からなかったが、アセスメントをして利用者、家族の気持ちを汲み取るようにしたい。
- ・自分の知らない社会資源が多くあり驚いた。自分たちで積み上げていくという話を聞き納得が出来た。
- ・地域資源についての見つけ出し方が分かった。プランに社会資源を加えるようになり勉強になった。
- ・体験談を聞き社会資源の幅が広がった。今後もケアマネ同士話をして互いの持つ情報を積み上げていくことが大切と思った。
- ・他事業所のケアマネから話を聞く機会があることは、自分の事業所だけでは知らない情報や得られないことも多いのだと感じ、貴重な時間だった。このような機会が今後もあると良い。

事例検討会

「地域のケアマネ、長寿介護課、包括職員で

それぞれの事例についてグループワークを行いました」

●開催 令和3年11月25日（木）

●テーマ 「医療連携」

●参加者 ケアマネ26名 主任ケアマネ14名 長寿介護課4名 包括等3名 合計47名

●内容 4グループに分かれ、各事例提供者のケースについて質問を行いながら理解を深め、ケース対応を学ぶ。



●感想～

- ・自分だけで完結するのではなく、関わる人全体で支援するのがコーディネートだと思った。
- ・悩んだことや困った事を相談し意見をもらう視点も大事。
- ・支援者の思いと本人の思いが合っているのかを考える機会になった。
- ・提案のタイミングなど限界をどこにするかという事を考えていくようにしたい。
- ・基礎資格によって視点も変わる。医療職の課題の視点が学べて参考になった。